

応募方法は下記をご覧ください

クイズ正解者の中から抽選で10名に図書カードをプレゼント

- ① 立春後、はじめて吹く強い南寄りの風
- ② 親指と他の指が分かれる形の袋状の履物
- ③ 豆乳を静かに煮立て、上面に生じた薄皮をすくい上げて製した物
- ④ スパイダー
- ⑤ 相撲取り
- ⑥ 乗用の馬具の1つ、口輪
- ⑦ 薄く切ること
- ⑧ 麦茶の別称
- ⑨ 多くの時代を経て古くなった物
- ⑩ 洋式の浴槽
- ⑪ たすけまもること
- ⑫ 有酸素運動
- ⑬ ジョージ
- ⑭ ラジオ、周波数、選局
- ⑮ 近い宝石
- ⑯ 透明または透
- ⑰ 紅色を帯びた透明または透
- ⑱ 「しよつたるなべ」の材料
- ⑲ 空気が
- ⑳ 港、港湾
- ㉑ 進みゆく路
- ㉒ 砂の多い土地
- ㉓ ことばの末尾
- ㉔ 人気スターの地位
- ㉕ ゴルフなどでボールを打つ棒
- ㉖ 英国
- ㉗ 二つそろって一組をなすもの
- ㉘ 雲の動いて行く様子
- ㉙ 持ってくるのを忘れた品物
- ㉚ ホワイト

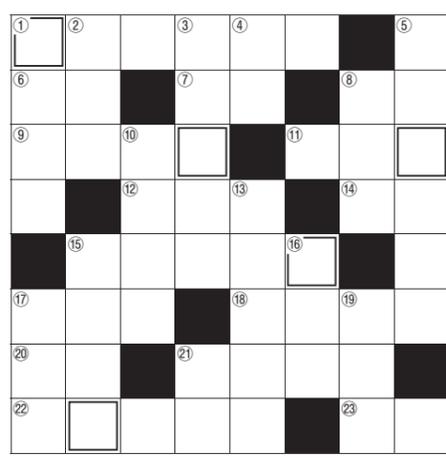
【71号の解答】カフェオレ

ト	シ	コ	シ	ソ	パ	フ
リ	ス	ト	ラ	レ	タ	ー
テ	ア	サ	イ	チ		
ソ	ム	リ	エ	シ	オ	リ
ウ	ク	シ	ヨ	ウ	カ	
フ	レ	ッ	ク	ッ	キ	ョ
ウ	ザ	ク	ッ	キ	ョ	ウ
キ	ー	タ	カ	ヨ	ウ	シ

応募総数 234通  
正解者数 229通

クロスワードクイズ

出題：溢  
二重ワクの文字を並びかえて、意味のある言葉にしてください。



① ヒント：自動注文の仲間入り

**Q** 乾燥が気になる冬場に あったファンデーションを教えてください。

**A** 冬場は保湿成分配合のファンデーションがおすすめ！メイクをしている間も乾燥から防いでくれます。パウダータイプのファンデーションなら、持ち運べるのでいつでもどこでもサッと化粧直しができるので便利です。毎日の基本のスキンケアで保湿することも大切です。特に乾燥が気になる時は週に一度のクリームパックでスペシャルケアを。

〈きれいに仕上げる付け方〉 〈クリームパックでスペシャルケア〉



①化粧下地でお肌を整え、専用パフの面1/2程度をとり、顔の内側から外側に向かってムラなくのばす。②目や小鼻のまわりなど、細かい部分は専用パフを2つ折りにして丁寧にたたきこむ。



①化粧水・乳液など基本のスキンケアでお肌を整える。②さくらんぼ小1個分程度のクリームを顔全体にのせる。③5分後、ティッシュペーパーでおさえるようにして拭き取る（こすらない）。

★今月のプレゼント  
コープUVパウダーファンデーション詰替用  
04ナチュラル（標準色）SPF20 PA++  
「サラッとした使い心地で、自然なお肌に仕上げる」  
〈内容量15g 定価980円〉

※通常、ケースは別売り(900円)です  
71号での応募は52名でした。

応募方法 (クロスワードクイズ・きれいの術)

クイズの答え、または「コープUVパウダーファンデーション詰替用希望」と書いて、機関紙ぱるタイムに対するご意見、住所、氏名(ふりがな)、組合員コードを記入して、ハガキまたはeメールで応募してください。お化粧品に関する悩み・質問もどうぞ。  
※クイズと化粧品の応募は別々をお願いします。

■締め切り 2月9日(土) 消印まで有効  
■当選者発表 プレゼントの発送をもって替えさせていただきます。  
■宛先  
〒534-0024 大阪市都島区東野田町1-5-26  
生活協同組合おおさかパルコープ 機関紙ぱるタイム係  
パソコンメールや携帯電話メールでの応募は  
右記アドレスへ [paltime@palcoop.or.jp](mailto:paltime@palcoop.or.jp)  
カメラ機能のある携帯電話はこれを読み取るとアドレス入力のかかりになります→



～ 2012年 岩手 被災地 職員ボランティア活動 ～

写真と報告は1ページ

〈2012年度第6陣〉11月12日～16日 パルコープ職員など9名

水田さん(組織部)、青山さん(共同購入本部)、蒲田さん・山本さん・中野さん・佐藤さん(以上4名内定者)、西岡さん(ならコープ)、田中さん(ならコープ)、長井さん

〈2012年度第7陣〉12月3日～7日 パルコープ職員など4名

宮川さん(港支所)、竹田さん(内定者)、横山さん(人事教育部)、中倉さん



NO.27

被災者に寄り添い、絆をつなげる支援活動を



被災から2度目の新年を迎えました。年末に行われた、いわて生協さん主催の「X'mas&年末のお振る舞い」には2回のボランティアバスで100名を超える組合員さんの参加があり、仮設住宅をはじめ多くの被災者の方々と交流し、地元の方々から喜ばれました。(報告は次号以降)  
2年近くの活動で、約1000名の3生協の組合員さんと職員が被災者の方々から数多くのことを教えていただきました。これからも被災地が必要としていることと、大阪の協同組合としてできることをつなぎ続けられるよう、皆さんと一緒に考え実行していきたいです。

(NPO遠野まごころネットに常駐する

パルコープボランティア事務局・林さんより)

遠野まごころネットのホームページは<http://tonomagokoro.net/>



※第17回ボランティアバスは2013年3月29日(金)～4月1日(月)を予定しています。募集の案内は74号で予定。  
※ボランティア活動報告はホームページにも掲載しています。<http://www.yodogawa.coop/info/info/shinsai>

第14回 岩手ボランティアバス報告

第14回(11月16日～19日) 42名参加

写真は1ページ

(のべ669名)

今回やっと参加することができました。一人での参加は少し戸惑いもありましたが、出発式で同年代から年配の方々まで気さくに話してくださって、不安はすぐに消えました。宿舎のお風呂で現地のおばあちゃんが当時のことを語ってくださり、「津波が真っ黒の壁だった。怖かったべ」とおっしゃっていた

のがとても印象的でした。想像しただけで怖いのだが、本当にあの場で津波を見た方々は恐ろしい思いをされたのだらうと胸が痛くなりました。風化して忘れられることが、一番あってはならないと思いました。もっとたくさんの人に東北を訪ねて現地を見てほしいと感じました。  
(枚方市・中川さん)

畑の新鮮なブロッコリーは硬いんやね

主催：くらしネット「福祉」



視覚障がいのある組合員さん19名と、ボランティアガイドさんなど44名が、和歌山県の紀ノ川農協に行き、「紀ノ川からの野菜だより」にも入っているブロッコリーの収穫体験をしました。



鈴なりの爽やかなみかんの香りをしみながら、ガイドさんの案内で紀ノ川農協の若手生産者・井上さんのブロッコリー畑に到着。組合員の宇田さんから、紀ノ川農協とパルコープの産直のとりくみについての話を聞き、大きな葉っぱに包まれたブロッコリーを手探りで確かめながら、鎌を使って収穫しました。ブロッコリーは、あんなに大きな葉っぱの間にニョキと頭を出してかわいかった。色もガイドさんに教えてもらいながら採り頃の収穫した。鎌で刈るのは少し怖かったけど、達成感があった。組合員さんのお話を聞き、後継者が安心して農業を続けられるように、安いのに感われないで国産の野菜を買おうと思った。スーパーで売ってる柔らかいのが普通と思っていたけど、畑のブロッコリーは硬くてみずみずしくておいしそう。家でさっそく井上さんオススメの天ぷらにするわ。などの感想が出されています。

